



男女共同参画情報誌

あなたとわたし

vol.52
2016.12月号

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

福生の働き方



長時間労働の是正を中心に、国を挙げての「働き方改革」の取組が本格化しています。

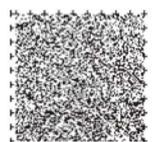
「仕事もプライベートも充実させたい」「子育てや介護と両立できる柔軟な働き方はできないか」

「一人ひとりが個性や才能を活かして生き生き働くことができれば」……

そんな願いがかなう日は、近いのかもしれませんが。

でも、福生市には既に、自分らしく輝いて、多様な働き方をしている人はたくさんいるんです！

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。
専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。
専用の読み取り装置は、市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。

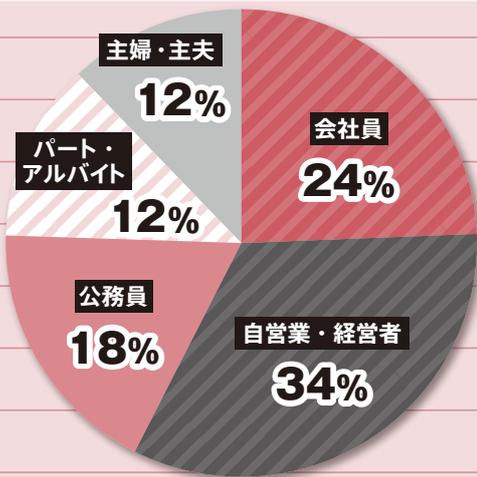


福生の人に聞く!

理想の働き方

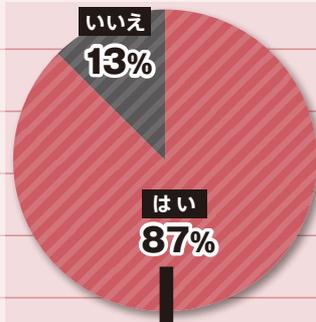
福生市に在住・在勤の20代～70代の方32名にアンケートで聞きました!

理想の職業は?

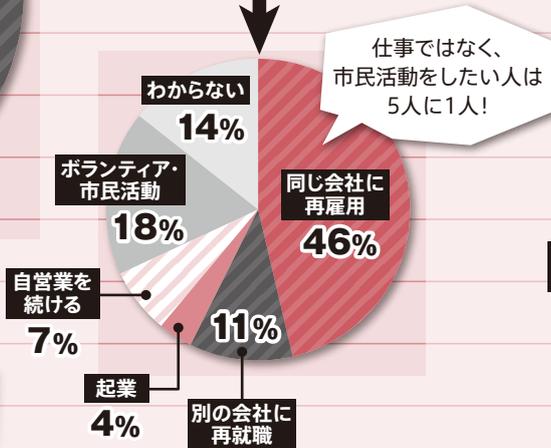


こんな働き方をしたい!

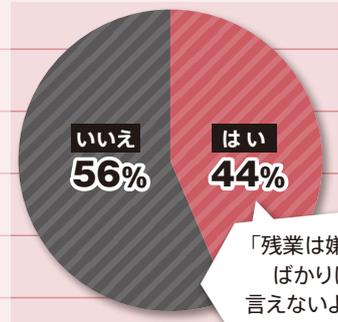
退職後も働きたい?



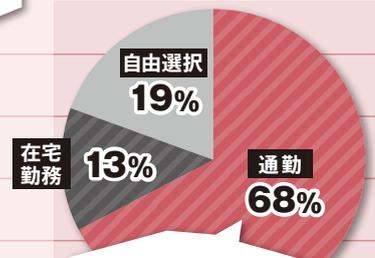
退職後の希望の働き方



残業はあっても仕方がない?



通勤・在宅どっちがいい?



生涯現役が理想です。

(男性・70代)

年を取ってだんだん働けなくなったときに、自宅で何かできればと思います。

(女性・40代)

仕事が人生の中心ではなく、人生の一部くらいの重さで働きたい。残業せず、仲間と楽しく笑って働ければいいな。

(女性・30代)

今の職場はサービス残業が多い。労働に見合った対価が欲しい。会社側も働き手側も意識改革が必要。

(男性・40代)

家族の病気、家の用事、自分の体調不良など、困ったときに気軽に休みがとれたり勤務交替ができる社会に!

(女性・40代)

人間関係がよい所で働きたい。生活できるだけ稼げれば、余ったお金は困っている人たちに分配できればいいな。

(男性・60代)

まとめ

「仕事ばかりでなく、自分の生活も充実させたい」という意見が目立ちました。一方で残業の是非については意見が分かれる結果に。「残業をしなければ仕事かさばけない」「残業代がなければ生活が苦しい」という現状もうかがえます。退職後も働きたい人は9割近くを占めました。「お金のため」「人生の充実のため」など理由はさまざま考えられますが、「定年後は悠々自適」といったライフスタイルは過去のものと言えるかもしれません。

福生で輝いて働く人たち

生きがい、やり甲斐をもとめ、多様な働き方をしている福生の方々に
インタビューをしました!

イラストレーターと派遣の 2足のわらじで働いています

フリーランスのイラストレーターとして、イベントのポスターやまちのイラストマップなど、さまざまな依頼をいただき、見た人が思わず笑い出すような、ユーモアたっぷりの絵を描いています。「元気になれた!」と喜んでもらえるのが嬉しいですね。イラストの仕事が少なくて時間が空くときは、派遣の仕事もしています。いずれはイラストだけで食べていきたいのですが、今は派遣で生活費を補填している状況。派遣は時間の融通が利いて動きやすいので、二つの仕事を両立しやすく助かります。絵は独学。とにかく描いて腕を磨きました。好きなことを仕事にできるのは幸せ。大変な時もありますが、続けてきて良かったと感じています。

画家
さお 彩織りさん



自分の裁量でできる仕事を 人との出会いを大切にしています

牛浜でイタリアンレストラン「トロッポ」を経営しています。18:30から一人で店を切り盛りして、開業から年中無休で約3年半、休んだのは1日だけ。この店を開いたのは、一人の裁量でできる仕事があったから。また、弟がイタリア食材の輸入をしていたからです。昼間は立川周辺でダイレクトメールの配達の仕事をしています。仕事で色々な場所に行けることが楽しみでもあります。

収入面も大切ですが、それ以上に、仕事を通じて色々な人に出会えることがやりがいです。忙しい毎日ですが、映画を年間約100本見たり、今日(取材当日)も昼間は横浜の中華街に行き、自分の時間も楽しんでいます。

イタリアンレストラン「トロッポ」経営
中村 与志也さん



50歳を過ぎて脱サラ・独立 本当にワクワクできることを仕事に

今年の秋に、整体院明楽^{めいらく}を開院しました。

会社員の時、身体の不調で受診した病院で「もう治らない」と言われ悩んでいたところ、同僚が紹介してくれた整体院に通い、痛みがなくなりました。自分と同じ思いをしている人達のためになりたいと、整体を学び、53歳で退職。反対していた家族は、「一度決めたら曲げない人だから」と渋々折れてくれました。

現在、月の半分は通所リハビリテーション施設で勤務、また、障がい者支援NPOでケアスタッフとして働い

ています。介助の仕事を通じて学ぶ事は多く、元気や勇気ももらいます。整体院は完全予約制で、他の仕事とは曜日・時間帯で調節しています。

身体を治し整えることは心を整えること、整体を通じて、痛みや不調を取り、明るく楽しい生活を送れるようお手伝いさせていただく場所を作りたいと考えています。自分にとって、やりがいのある仕事に出会えたと思っています。

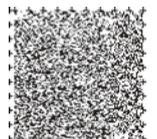
めいらく
整体院明楽
加藤 仁嗣さん



目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。

専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。

専用の読み取り装置は、市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。



フォーラムに
ご参加を!

第25回男女共同参画フォーラム

「みんなで話そう♪～男の子の育て方・女の子の育て方～」

2017年
2/25(土)

ただ今企画進行中!

市民からなる実行委員が企画している男女共同参加フォーラム。

現在、議論を重ね、内容を検討中!

時間等詳細は、後日発行される「広報ふっさ」をご覧ください!

福生市民会館・公民館 第4・5集会室(3階)にて



昨年は、「男女のさべつ 女だけじゃない男もつらいよ」と題し、フォーラムを開催。男女共同参画もだいぶ進んできたとはいえ、まだまだ「差別」や「悩み」を感じている人も多く、理想と現実のギャップがあることが見えてきました。男女差別のよくある場面を寸劇にし、それをもとに話し合うという企画でした。

さて、今年はどうな企画を? 10月8日から始まった実行委員

会では、助言者に都留文科大学講師の富永貴公氏を迎え、企画の検討を重ねてきました。男らしく、女らしくって? 男の子だから、女の子だから、こう育てたい...そういうイメージがあるのでは? 本当はどう育てたいのか? などの議論から、テーマを「みんなで話そう♪～男の子の育て方・女の子の育て方」と題し、当日の内容について話し合いが進行中。さて、どんなフォーラムになるか乞うご期待!

昨年のフォーラムの様子



illustration designed by Freepik

※フォーラムについてのご質問につきましては、公民館にお問い合わせください。問合せ 福生市公民館公民館係 電話 042-552-2118

編集員を募集しています!

編集に興味がある方、何かやってみたい方!
お待ちしております!(無償ボランティアになります)
ご意見、情報もお待ちしております!

[問合せ]
福生市生活環境部
協働推進課:宮野まで! 042-551-1590

編集後記

取材や写真撮影に関わるたびに、少しずつ世界が広がるようでうれしくなります。(田中)

やりがいある仕事でも賃金が見合っているのか、どこで折合をつけるか、アンケートを元に考え直そうと思います。(谷川)

広告を募集しています! 次号は3月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

【規格】 4.5センチ×9センチ。各号2枠

【広告料】 1枠:15,000円

※申込み用紙は、市のホームページからダウンロードできます。内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【問合せ】 福生市生活環境部協働推進課 電話042-551-1590

市民編集員

○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝

作製:(有)セイビ印刷所 協力:石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.52 2016年12月号

発行:福生市生活環境部協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

http://www.city.fussa.tokyo.jp/